

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第6回 中学校給食検討委員会
開 催 日 時	平成23年12月19日（金） 10時00分から12時15分まで
開 催 場 所	別館 第2委員会室
出 席 者	委員長：梅崎副市長 副委員長：南部教育長 委 員：村橋教育次長、大西理事兼財務部長、奥行政改革部長、 長沢総務部長、小山都市整備部長、戸野谷公共施設部長、 君家管理部長、奈良学校教育部長
欠 席 者	高井企画財政部長
案 件 名	1. 中学校給食のアンケートについて 2. 今後のスケジュールについて 3. その他
提出された資料等の 名 称	1. 中学校給食のアンケート（案）
決 定 事 項	<input type="checkbox"/> 中学校給食のアンケートについて確認した。 <input type="checkbox"/> 今後のスケジュールを確認した。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	非公開 枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる 事項について検討を行うため。
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	非公表 枚方市情報公開条例第6条第6号に規定する非公開情報が含まれる 事項について検討を行う会議の会議録のため。
傍 聴 者 の 数	_____
所 管 部 署 (事 務 局)	管理部 学校給食課

審 議 内 容

総括

- 中学校給食のアンケートについて確認した。
- 今後のスケジュールを確認した。

質疑応答

- 委員長 アンケートの目的を確認しておく。実施に向けて、手法を決定していくためのアンケートであるが、このアンケート結果だけで判断するものではない。前回の意見を確認する。参考資料では、食缶や選択制方式という言葉がわかりにくいので、イメージできる画像など入れる事。給食の仕組みをわかりやすく説明する事。給食費の使われ方を明確にする事。税の使われ方をわかりやすくする事。財政状況に人件費を入れる事。そして、別紙について検討する。
- 委員 参考資料を読んで理解できたことが多いので、選択肢の所に参考資料を参照するように書くことはできないか。また、質問1の回答で③を選んだ人は、質問2・質問3に回答してもらわないといけないのではないかな。
- 事務局 選択方法を工夫する。
- 委員長 アンケートの選択肢と参考資料との関係をうまく表現できないか。質問4の選択肢を並べ替えて、全員喫食・選択方式・今までどおりとすること。
- 副委員長 質問では、表現を統一あるものにする事。参考資料3ページの「府補助制度」は、全額補助ではなく2分の1であることを説明する必要がある。
- 委員 アンケート質問4(1)・(3)の選択肢⑤は意図的に見える。教育委員会が財源の説明をするのは限界がある。税の話は参考資料として出す事で留めておく。「ご協力のお願い」で「中学校での昼食のあり方を考えていくにあたり、」とあるが、アンケートの趣旨と矛盾するのではないかな。
- 副委員長 財源の事を考えてと言われている。教育委員会としては、参考資料の中で経費として出しておいて、その他意見の中で書き込める方がよい。
- 委員長 税に関する選択肢は削除する。
- 委員 質問4の「昼食のあり方には」は、「昼食については」が良いのではないかな。アンケートの回答者状況調べで、「高校生のお子様は」は「高校生以上のお子様」とし、中学校を卒業した子どもの親の意見として参考とする。
- 委員 質問4(1)選択肢①②の「責任」「結びつき」の表現は気になる。
- 副委員長 教育委員・PTA等からは、弁当を作ることで「責任が持てる」とか「子どもとの結びつきが強くなる」との意見がある。
- 委員 質問4(2)選択肢②「望ましい食習慣」とは、具体的にはどういう意味か。
- 事務局 好き嫌いの改善、食事のマナーを身につける、協調性を身につける、などである。
- 委員長 食育の分野である。
- 委員 人によって解釈が分かれることをアンケートで求めることは無理がある。
- 委員 参考資料について、1ページの単独調理場・共同調理場の図解に学校数は不要。給食の予算は、公費負担と給食費、小中を一覧で比較できるようにする。中学校の実施状況は府内状況など具体的に書く。2ページは、表の施設整備費に補助額を入れる。3ページの表題は「枚方市の財政状況は？」で良い。「行政改革の取り組みを一貫して進めてきた」「9年連続の黒字を計上してきた」を現在進行形にする。「今後も様々な事業を継続」とあるが、切らねばならない事業もある。「総合的な判断が求められます」を主体性のある書き方にする。参考の補助制度の目的は一行程度にして内容を詳しく書く。4ページの予算額は、金額を「目」単位で括るなどの工夫が必要である。

委員長	参考資料については、手法を具体的に説明する。府内の全員喫食・選択制方式の実施状況について、事実を具体的に書く。1ページの予算・給食費は表にする。
副委員長	補助金が出ることで動いているので、補助金を施設設備費欄に入れる。
委員	2ページのアンケート結果には、回答枚数を入れる。
委員長	3ページでは、全体がわかるように収入総額・支出総額を出した。
委員	教育に関連した予算の決算状況がわからない。唐突に財政状況が出て来ている。
副委員長	22年度決算の円グラフを入れてはどうか。
委員	財政資料については、既にあるものを使う方が説明しやすい。財政状況は決算よりこれからが大事。長期財政見通しの上に6億の年間コストがかかる。
委員長	参考資料については、意見を参考に修正する。別紙についてはどうか。
委員	別紙は入れるべきだが、主な特徴と課題については検討が必要である。
委員長	別紙については、引き続き検討を行う事業手法は簡潔に、実施困難な事業手法は詳細に、内容を整理する。アンケート・参考資料の修正案は各委員に配布する。最終は委員長・副委員長に一任とする。 今後のスケジュールとして、幹事会ではアンケート結果や食育などの観点からの検討を行ってもらおう。事務局は他市への視察を行うこと。